

担当部課名	教育委員会 教育指導課 教育指導グループ			
件名	新・守谷型カリキュラム・マネジメント ～夏季休業日延長を「チャンス」に、教育課程をアップデート～			
新規・継続別	新規			
期間	2026年4月1日から開始			
場所	守谷市立小中学校	TEL	(代表) 教育指導課 0297-45-1111	
目的 又は趣旨	守谷市は、近年の酷暑から児童生徒の健康・安全を確実に守るために夏季休業日を5日間延長します。休業日延長に伴う授業時数の確保を、不足する時数の補充に留めることなく、 <u>次期学習指導要領を見据えた「新・守谷型カリキュラム・マネジメント」としてアップデートします。</u>			
内容 (方法、対象者、 数量等)	<p>1 夏季休業延長に伴う授業時数の状況</p> <p>(1) 中学校では、現行の教育課程「週3日の5時間授業」では27時間分の不足が生じるため、水曜日を6時間授業とすることで授業時数を確保する。 (教育活動は年間40週程度で実施、13時間(40-27=13)程度増と試算)</p> <p>(2) 小学校では、現行の教育課程(モジュール学習*での15分×3コマ)で授業時数に余剰が生じているため、これまでと変わらず「週3日以上の5時間授業」を継続する。</p> <p>2 アップデートする教育課程の具体</p> <p>(1) 小中学校ともに、生成AIを効果的に活用し、「探究的な学び」の土台となる力を育む「さきがけタイム(仮称)」を設定する。</p> <p>(2) [中学校の例] 不足分を補う1コマ(水曜6校時)に設定 [小学校の例] 週5コマあるモジュール学習の2コマ分として設定</p> <p>(3) 「さきがけタイム(仮称)」で身に付けた力を、各教科等の「探究的な学び」と往還させ、児童生徒一人ひとりの学力の向上につなげる。</p> <p>【好事例】</p> <p>黒内小学校・6年生「ゴミ問題対策プロジェクト」: 生成AIを効果的に活用し、課題を見いだし、課題解決に向けて提案、学び続ける姿</p> <p>3 予想される効果「学びの質と学力の向上」</p> <p>生成AIを適切に活用し、論理的な思考力や読解力・表現力するスキルを身に付けることで、より高度で深い学びを展開することができる。</p>			
予算額 又は経費	<p>○2,653千円増額(「児童クラブ」委託料)</p> <p>○8,574千円減額(光熱水費3,450千円、介護補助員報酬3,586千円、学校用務員報酬283千円、スクールバス運行費用1,012千円、通学補助員謝礼243千円)</p> <p>※学校給食費については、国の施策を踏まえ現在検討中</p>			
特記事項	(モジュール学習*) 通常、授業は45分や50分という「1単位」をベースに構成されるが、モジュール学習はこの単位時間をさらに細かく分割し、10分～15分程度の短い時間(モジュール)を組み合わせて行う学習形態のこと。			